



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



2011-2012 年度

国際ロータリー会長 / カルヤン・パネルジー 会長 / 飯塚 詔夫 副会長 / 黒田 昌弘
2690地区ガバナー / 伊藤 文利 幹事 / 堀江 卓男 会計 / 槇野 良文

平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365 / IP : 050-5204-5816
URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

例会プログラム

例会日	卓話者	演題
5月31日	島根県商工労働部雇用政策課 産業人財育成コーディネーター 矢野 俊人 様	農業ビジネスの可能性
6月7日	JT松江営業所 所長 神尾英雄 様	JTのたばこ事業について
6月14日	自衛隊島根地方協力本部長 一等陸佐 藤木隆志 様	朝鮮半島情勢について

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
36	31	5(2)	91.18%	87.88 %

欠席者

園山 / 田中浩 / 石原(山根 / 牧野)

来訪者

なし

メイクアップ

なし

次回例会受付当番

(6月14日) 釜屋治男 / 杉原邦彦 / 杉原朋之

(6月21日) 田中浩史 / 高砂明弘 / 田中久雄

近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

(出雲)

(松江) 赤文字 例会変更

月	出雲中央	6/25	松江南
火	出雲	6/26	松江しんじ湖 6/19 6/26(休)
水	大社	6/6 6/20 6/27(休)	松江 6/20 6/27(休)
木			松江東 6/21 6/28(休)
金	出雲南	6/22 6/29(休)	

会長挨拶

ふんどし祝い、腰巻き祝いは村落共同体への参加の儀式。昔は成人式の事を、男はふんどし祝い、女は腰巻き祝いといっていました。又、身分の高い公家は冠祝い、又はか冠の祝いと言っていました。男は16歳頃、女は14歳頃に成人式を行っていた様ですが、その基準は性的に一人前になったかどうか、生殖能力が伴ったかどうかを目安にしていた様です。ふんどしも腰巻きも性器を保護するもので、これを下紐といい下紐を結び合うという事、即ち男女の交わりという意味があります。この祝いの時には、仮親制といって村落共同体の中での擬制的な親子関係になり仮親はさまざまな智恵を与え、生活を保障する代わりに「子」は奉仕を行い、節目には挨拶を欠かしません。この様に親以外にも2重3重の擬制的親子関係を作って、より強い人間関係を作る村落共同体を作っていた様ですが、今日このような風習はすたれ、各個人が良ければ良いという様な風潮があり「権利だけを主張し、義務を果たさない」といった様な社会現象が現代社会に一番大きな問題点をなげかけている様な気が致します。

幹事報告

1. 例会変更

出雲 RC 6/26(火) 18:30 ~ 最終例会 ニューウェルシティ出雲
ビジター受付 11:30 ~ 12:30 ホテル武志山荘

出雲南 RC 6/22(金) 夜の例会

ビジター受付 11:30 ~ 12:30 事務局

2. 休 会

出雲南 RC 6/29(金) 定款により ビジター受付 なし

3. 6/2(土) 11:00 ~ 倉敷シティホテルにおきまして地区青少年交換委員会引継ぎ会が開催され、当クラブより次期青少年交換委員の飯塚詔夫会長が出席致します。

4. 持田祐輔様の入会に対し昨日までに意義の申し立てがございましたので入会が決定致しました。

なお小訂様、持田様の入会式は次週行います。

スマイル

大島治 (矢野様、本日はスピーチありがとうございます。)

大谷 (矢野さんお久しぶりです。今日はありがとうございます。楽しみにしています。)

園 (矢野俊人様ご苦労様です。島根県をよろしくお願いします。)

加藤喜 (昨日(30日)皇居、宮殿の春秋の間において天皇陛下に拝謁、御言葉を賜りました。)

佐々木 (今日5月31日は 世界禁煙デーです。)

スピーチ・例会行事

「農業ビジネスの可能性」

島根県商工労働部雇用政策課 産業人財育成コーディネーター
矢野 俊人 様

矢野さんは、山陰合同銀行にて支店長まで務められていた経緯の方です。それまでに培われたセンスによって、現在は県の商工労働部に所属されています。そこで農業に係るビジネスに向けてご尽力されていらっしゃる。合銀時代に、倉吉の無農薬のお米から造られた有機の酒「黒門」(清酒八潮 中井酒造)がいきなり有名デパートで取扱い出来たこと、島根の出雲にて農援隊としての事業立上に尽力されたこと、そのトマトは有効成分が豊富で高値で取引されていることなど農業関係のことで大きく影響を受けられ、刺激されたことが今の矢野さんの活力の源のようです。今は、「セミプレミアム農産物」なるものが脚光をあびビジネスとして成り立っている。事例として地元・島根で言えば「出西しょうが」です。寿製菓(鳥取)がうまく利用して、地元の原料を使用した KAnoZA ブランドを立ち上げこだわりの菓子として販売をしている。また京都の「九条ねぎ」は、京都府各地の農場で栽培管理システムにより計画的、より効率的に丁寧に作られた九条ねぎを新鮮なまま万全に安全管理された工場にて加工、卸売している。このシステムを造り上げている会社「こと京都」というものがあります。こういった歴



史的な背景があり、その地域でしか栽培できないような農産物が「セミプレミアム農産物」であり、今後TPPに打ち勝つための一つの策である。その他にも農工商連携、6次産業化のこと、TPPの裏の目的などをお話いただきました。その中で「農業のシステム化」なることを提唱し、農業が完全にシステム化できることにより農業をパッケージとして、他国などに農産物ではなく、農業の仕組み自体を販売していけないかということを検討していらっしゃいます。これからの時代を新たな取り組みの農業で切り開こうという思いをお話いただきました。